

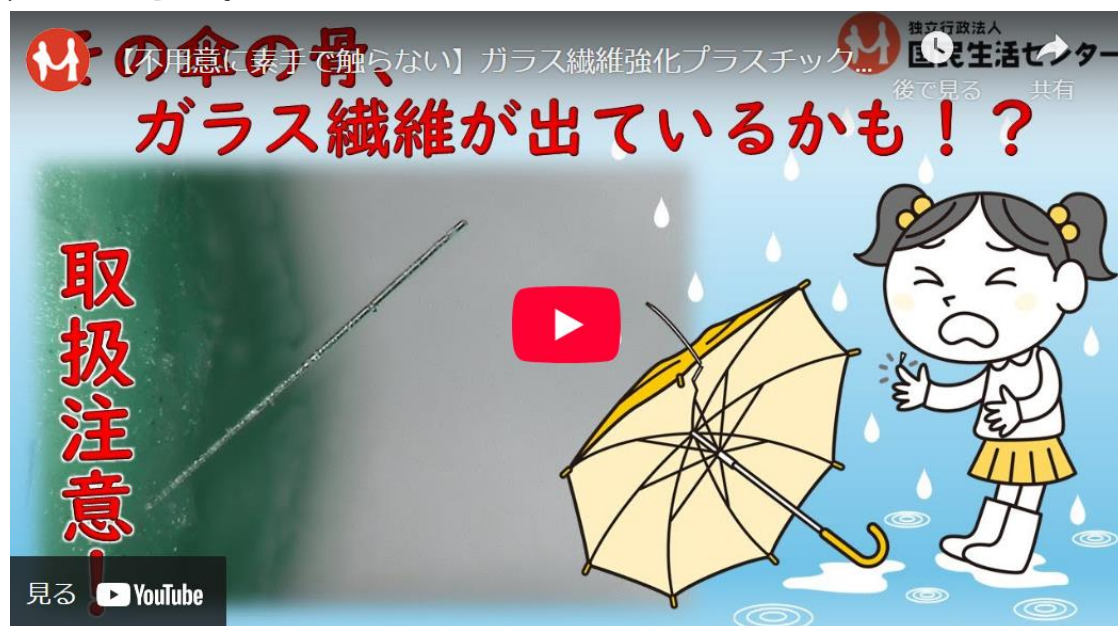


傘骨組み等に使用のガラス 繊維強化プラスチックでの怪我人発生中

ガラス繊維強化プラスチックが使用された商品から飛び出したガラス繊維を触ってけがをした、あるいはそのおそれがあったとする相談が寄せられています。

ガラス繊維強化プラスチックは、細いガラス繊維の束に樹脂をしみ込ませて成形したもので、傘の骨、園芸用ポール、テントの支柱など、軽量で弾性が求められる部位に用いられることがあります。ガラス繊維は細く肉眼では見えづらいため、気づかず露出した部分に触れると、けがをするおそれもあります。

詳しくはコチラの動画(上映時間は 1 分 20 秒)を参照してください。下画面をクリックしてインターネットでご覧(通信料が発生しますので、ご注意ください)ください。



裏面(次頁)の国民生活センター発信のチラシもご覧ください。